



## 第35回 市教組定期大会、開催される！NO.5

質問と答弁のつづきです。

【高須中分会 堀田代議員の質問】

**事務負担軽減**〔旅費〕

旅費事務では、これまでシステムによる基点間距離での自動計算だったものが、実測になり、教員・事務職員ともに計測と手入力の手間がかかるようになった。また説明会もなく、各学校の判断で運用する、公平さを欠く制度になっている。自家用車出張がほとんどである学校の実態に即し、学校現場の業務改善となる制度やシステムの構築を求める。

【中川事務職員部長の答弁】

今回の旅費の制度改正は、出張申請をする教職員、それを決裁する管理職、そして旅費を請求する事務職員、すべての教職員の業務が負担増になる変更になっています。事務職員部としても、4月早々に申し入れ、また5月末には市教委に対して改善の要望書を提出したところです。出張申請や旅費の請求事務が簡素化されるよう、これからも改善を求めています。



【高須中分会 堀田代議員の質問】

**事務負担軽減**〔中学校給食費無償化・教材費の公会計化〕

小学校給食費無償化により、小学校では年間数百万から数千万円の校長口座での取り扱いがなくなり、会計の安全性が保たれ、未納督促等の事務負担が減った。公平性の観点から中学校でも無償化し、保護者負担や事務負担をなくしていただきたい。また、教材費も公費化、または公会計化して、学校現場の業務改善を進めていただきたい。今後のとりくみを伺う。

【田中書記長の答弁】

文科省が掲げる学校(教職員)以外が行う業務のひとつとして、学校徴収金の徴収・管理があります。そのためには公会計化が必要となります。毎年、確定交渉であげていますが、まだ実施している政令指定都市がないことや、性質上公会計化になじまないことなどで、導入は見送られてきました。他都市の状況を注視していくということで、引き続き要望はあげていきます。もともと中学校も給食費の無償化については、市長が行う予定にしていたこともふまえ、校納金の教材費の高騰もあり、まず給食費の無償化から始めてほしいと、確定交渉の項目にかかげていきます。

【千代中分会 落水代議員の質問】

**職の確立**

主任が極端に多く、割合は市の行政職の2倍強。主査は市と同程度だが、事務長4級クラスが市は行政職全体の22%に対し、事務職員はたったの6%。主任から主査、主査から事務長への昇任に目詰まりが起きている。行政と給料表は同じなのに、学校事務職員のみ主査、主任止まりの人事差別が行われている。昨年度は、事務長4級の試験すらなかった。強く抗議するとともに、市の水準にするために、各中学校区に一人の事務長配置を求める。今後のとりくみを伺う。

【中川事務職員部長の答弁】

昨年度、事務長の試験自体がなかったことについては、事務職員部としても大変遺憾に思っています。今年度の交渉では、毎年事務長の試験を行うよう強く要望します。また先程言われましたように、市の行政職と学校事務職員の役職の割合に大きな差があることがわかりましたので、今後はこの違いを具体的に数字に示して交渉にのぞみたいと思います。また、事務長の枠を増やすためにも、中学校区に一人事務長を配置するよう求めています。事務職員の昇任については、権限移譲後は、毎年セクション交渉で要望していますが、なかなか要望がとおりません。議案書に書いてある通り、権限移譲後、教員だけに認められていた、「産休繰越」「結婚休暇の期間」が来年度からやっと事務職員にも適用されるようになりました。これは、毎年粘り強く交渉を続けた成果だと思っています。昇任についても、要望がとおるまで、粘り強く交渉を続けていきます。

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL(093)953-0381

